

災害に備えてラジオの防災体験

9月21日にコミュニティFM局のドリームステーションが城島小学校4、5年生に防災学習を行いました。子どもたちは同局の熊手彩人社長の説明を一人一台のパソコンで視聴し、今年の豪雨の様子やその恐ろしさ、準備の大切さを学習。インターネットラジオで緊急放送の試聴も行いました。5年生の今村悠希さんは「災害時にラジオでも情報を集められることを家族に伝えて、災害に備えます」と話しました。



ラジオが聴けるホームページを実際に自分で検索し、体験しました

男女共同参画への取り組みを表彰

9月22日、本庁舎で「男女共同参画社会づくり表彰式」が行われました。地域で貢献した個人や団体が対象。受賞したのは、仕事と子育ての両立を応援している「SoraProject」と女性が活動しやすいまちづくりを行っている「青峰校区まちづくり振興会」の2団体。同振興会の原口智明会長は、「誰もが参加しやすい環境づくりが大切だと思います」と話しました。



受賞した青峰校区まちづくり振興会とSoraProjectの皆さん

田中選手、果敢に攻めるも惜敗

9月2日、東京2020パラリンピックの男子パラテコンドー61kg級に、久留米出身の田中光哉選手（ブリストル・マイヤーズスクイブ所属）が出場しました。競技を始めて3年という短期間で代表選手に。結果は2戦2敗ながらも、最後まで、ランキング上位の強豪選手を相手に攻め続けました。田中選手は「まだ強くなれる」と次の目標に向かって進み続けています。



準々決勝では優勝したブラジルの選手と試合した田中選手 写真：西村尚己/アフロスポーツ

地域の皆さん「いつもありがとう」

9月21日、久留米筑水高校生物工学科花専攻の生徒たちが花の苗を山川校区地域づくり振興会に贈りました。地域の皆さんの見守り活動や交通事故防止の呼び掛けへのお礼として、200鉢がコミュニティセンターの花壇に植えられます。3年生の阿部一貴さんは、「きれいに咲いて安心しました。花を見て気持ちも落ち着かせたら交通事故も減ると思います」と話しました。



生徒たちは、山川校区地域づくり振興会の今村俊夫会長と一緒にプランターに植え替えました

旧京町校区コミセンで訓練

8月24、25日に移転した旧京町校区コミュニティセンターの建物で久留米消防署が訓練を実施しました。消防士20名が参加。シナリオがなく、状況に応じて判断し、活動するブライント型訓練です。綾部勇希消防士長は、「建物の間取りや火元を瞬時に判断しなければならず、緊張感を持って訓練に臨みました。実際の建物を使う貴重な機会です。実践に生かします」と話しました。



建物内に進入する前に、優先事項や役割分担などを確認しよう消防士たち

8月豪雨被災地を3大臣が視察

8月豪雨災害を受け、大臣らが市を訪れ、現地視察や市と意見交換を行いました。8月23日、武田良太総務大臣が津福本町の住宅街を、26日には赤羽一嘉国土交通大臣が安武町の古賀坂排水機場を視察。9月8日に、野上浩太郎農林水産大臣が朝倉市を視察後に、本市で意見交換を行いました。大久保市長は、道路や河川、農地などの早期の復旧・復興支援を要望しました。



武田総務大臣（中央）に要望書を渡す大久保市長（右）と石井俊一市議会議長

新型コロナ感染防止の徹底を

新型コロナの再拡大を防ぐためには、一人一人の基本的な感染防止対策の徹底が必要です。感染リスクを避ける行動をお願いします。

市公式 SNS で情報発信中

新型コロナの感染状況や新型コロナワクチン接種の最新情報、支援などをさまざまな方法で発信中。



※ QR コードは株式会社デンソーウェブの商標登録です

TV・ラジオで放送中

KBC テレビ d ボタン

- ①テレビで KBC を視聴
- ②リモコンの「d」ボタンを押す
- ③市の情報を最大 10 項目表示

ドリームス FM (76.5MHz)

- ・広報くるめラジオ版 (月～金) 8時5分、12時5分
- ・キラリ*久留米ラジオ (土・日) 9時
- ・知るっば久留米 (木) 12時30分

今月の表紙

久留米に凱旋 素根選手



東京 2020 オリンピックでメダルを獲得した素根輝選手が久留米に凱旋。恩師などが見守る中、市民栄誉特別賞を受賞しました。